

輝く陽光が天地に満ち溢れ、春風が心地よい、まさに春爛漫という今日のこの佳き日に、多くの保護者の皆様の御臨席のもと、「令和四年度 熊本県立玉名高等学校 および玉名高等学校附属中学校 入学式」をこのように挙行できますことは大きな喜びであります。

ただ今、入学を許可しました三百二十四名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。本校への入学を心から歓迎します。また、保護者の皆様におかれましては本日お子様が晴れの入学の日を迎えられましたことを、本校職員を代表し、心よりお祝い申し上げます。

本校は、国の登録有形文化財にも指定されている「白亜の殿堂」と呼ばれる壮麗な校舎を有しており、旧制玉名中学校と県立高瀬高等女学校などを源流とする学校です。

校訓の「至誠・剛健・進取」のもと、県

北の進学拠点校として、幾多の輝かしい歴史と実績を誇り、今年で創立百十九年目を迎えました。この間、実に四万人を超える同窓生の方々の目覚ましい活躍と母校愛に支えられ、この地に深く根差した伝統校として着実にその歩を進めて参りました。平成二十三年度には附属中学校を併設し、中高一貫教育校として、一層の飛躍を目指し、職員一丸となって、教育活動の充実に努めているところです。

ところで、本校の教育の礎（いしずえ）であり、多くの先輩方が精神的支えとしてきたものが、先にも述べた校訓の「至誠・剛健・進取」です。

至誠とは、「人としての正しい生き方をわきまえ、自分がなすべきことを全うする人物になりなさい」ということです。

剛健とは、「物事に屈しない強く確かな意志を持ち、ゆるぎない信念に燃える人物になりなさい」ということです。

そして、進取とは、「新しいことに進んで挑戦し、率先して模範を示す気概のある人物になりなさい」ということです。

本校は、今でもこの校訓を教育の根幹に据え、家庭や同窓会、地域と連携しながら

ら、社会に貢献できる有為な人材の育成を目指しています。

さて、本校の庭には、旧制玉名中学校の卒業生であり詩人の坂村真民さんの「念ずれば花ひらく」の石碑があります。ここ

で、坂村さんの詩を一つ紹介します。

「花は一瞬にして咲かない。大木も一瞬にして大きくはならない。一日一夜の積み重ねの上にその栄光を示すのである。」

皆さんには、これから始まる本校での生活存分に謳歌してほしいと思います。ですが、楽しいことばかりではないでしょう。辛く苦しい時もあります。それでもそうした困難を前にひるむことなく、本校で学び、日々の積み重ねを大事にして自分の

可能性を広げていってください。そしていつの日か、大輪の花を咲かせて欲しいと切に願っています。

最後になりましたが、保護者の皆様、ごめまして、お子様のご入学おめでとうございませす。私ども本校教職員は、大切なお子様の更なる成長に向け、全力を尽くして参る所存です。何とぞ、本校の教育方針にご理解を賜り、お子様の成長にとって何が大切なのかを共に考えながら、保護者の皆様と私たち教職員とで力を合わせ、お子様を育てて参りたいと思ひます。

また、今後の学校の教育活動を実施するにあたり、新型コロナウイルスの感染状況が非常に気掛かりではあります。学校として感染対策を十分に講じながら、お子様の様々な学習機会の確保にも努めて参ります。御協力の程どうかよろしくお願いいたします。

新入生の皆さんが明るく伸びやかに成長

し、自分の夢の実現に向かって大きく羽ばたいてくれることを祈念して、式辞といたします。

令和四年四月八日

熊本県立玉名高等学校

玉名高等学校高附属中学校

校長 田中 篤